正しい LINE の使い方・誤った LINE の使い方

早く返事がほしい！その気持ちが相手の返信を遅らせている

とても便利な連絡ツール「LINE」。のりぴ塾生の LINE を添削させていただくことがあるのですが、誤った使い方では伝わらないばかりか誤解も生じます。LINE は「既読」がついてしまうぶん、「読んでくれた」「読んでくれたけど返事が来ない」「無視された」「大切にされていないかも」と妄想も膨らみやすいもの。パートナーに限らず、友人や家族でもあり得ます。ここで、今一度使い方を振り返りましょう。

誤った LINE の使い方

- ✱ とにかく「　　」　言いたいことがダラダラ続き、「　　」。「　　」という我慢をし尽くした後に送るとこうなりやすい。
- ✱ 「　　」がヘタ　「　　」過ぎて伝わらないので、スルーされやすい
- ✱ 「　　」に包み過ぎ　「　　」ので返しづらいし相手の「　　」にハマりやすい。
- ✱ 「　　」を送りまくる　これをやってしまうと相手は「　　」と感じ、返信しにくい。
- ✱ 「　　」しづらい内容　「　　」を求めているのか判別できなかったり、送信者にしかわかり得ないような内容を送ると「　　」ない。

正しい LINE の使い方

- ✱ 「　　」で答えられる　送られてきたタイミングにもよるが、相手が男性の場合、「　　」送れない内容の場合、すぐに返信できない。後で返そうと思って忘れてしまい、そのままスルーにもなりやすい。
- ✱ 相手が「　　」内容　もらった相手が思わずクスっと笑ってしまうような内容は、相手の心にも嬉しい反応をもたらして、返信したくなる。
- ✱ 「　　」文章　「　　」文章。句読点はもちろん、漢字やひらがな、英数字の使い方が「　　」こと。
- ✱ 「　　」に品がある　慣れてくると「　　」のようになりやすいが、品格は重要。
- ✱ 「　　」を出す　自分の「　　」を地道に積み上げる。相手にとっても「　　」と感じてもらえる「　　」づくり。

Copyright (C) 2021 のりぴ塾 All Rights Reserved
無断転載・複写厳禁／このテキストは著作権法で保護されています。